

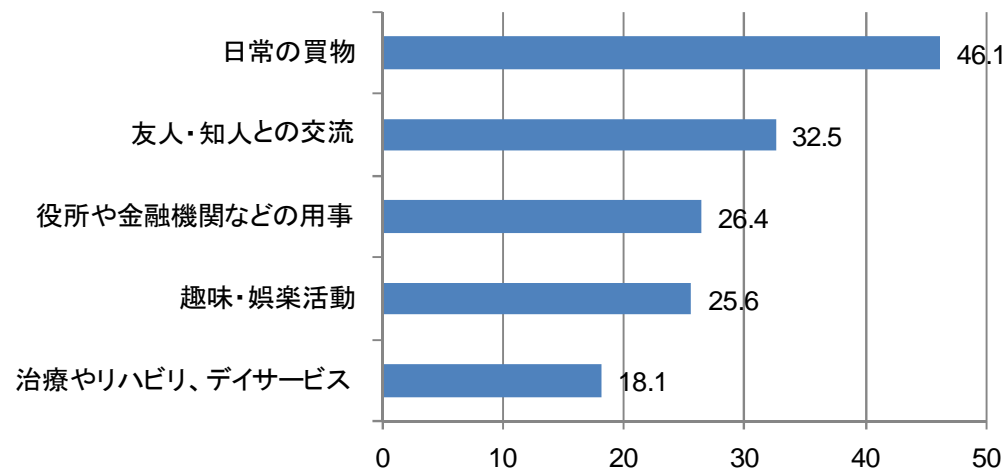
2. おでかけ応援バスの の改変

●おでかけ応援バスの制度概要

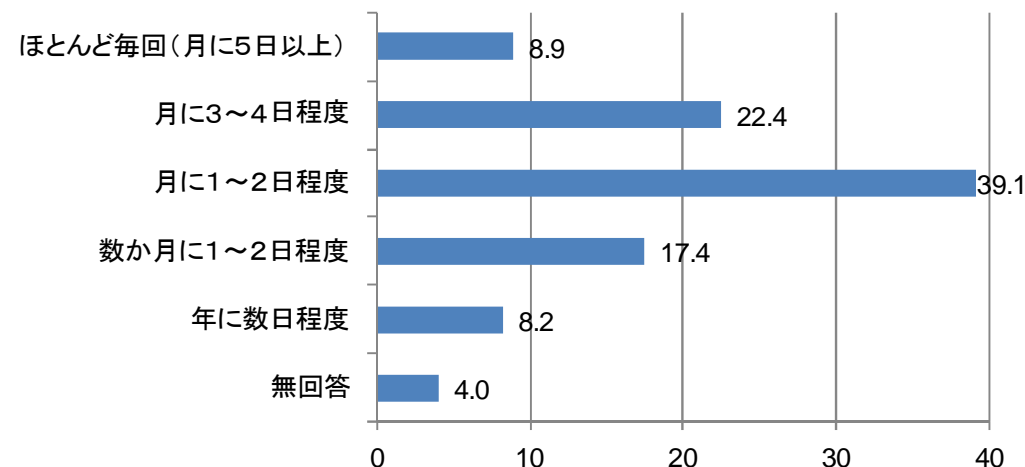
目的	高齢者の外出支援と社会参加
対象者	満65歳以上の堺市民
利用内容	南海バス・近鉄バスを1乗車100円で利用可能
利用可能日	毎月5・10・15・20・25・30日の各日
利用方法	運賃支払い時におでかけ応援カードを提示し、現金100円を支払い
利用実績	年間約117万人(平成23年度)
市負担額	約9,600万円(平成23年度)

●おでかけ応援バスの外出状況

- ・利用目的は、買物・趣味・娯楽・通院などの自由目的が多い。
- ・その際、ひとりで利用する人が全体の3分の2を占める。
- ・利用頻度は、月に1～2回程度利用する人が最も多く、月に1回以上利用する人が全体の7割を占める。
- ・利用する時間帯は、午前9時～午後5時が全体の8割を占める。



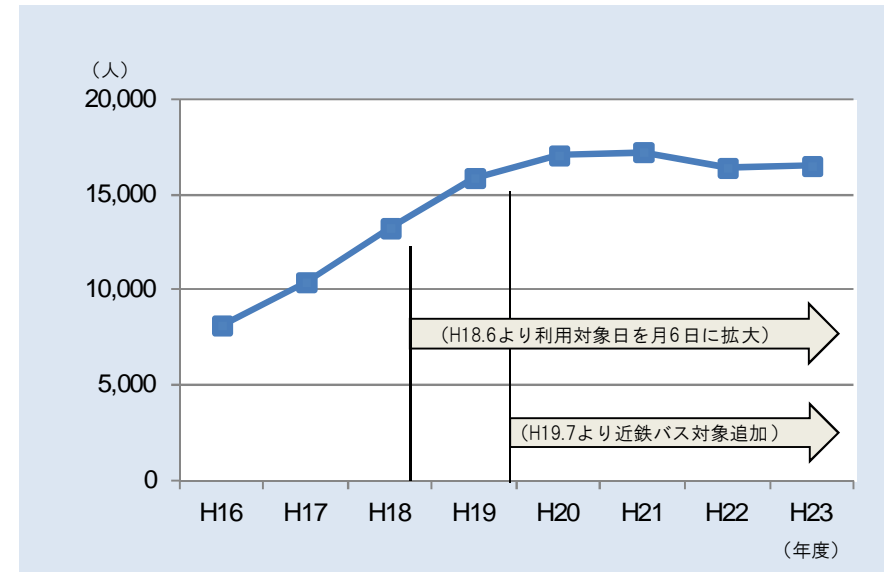
おでかけ応援バスの主な利用目的（複数回答）



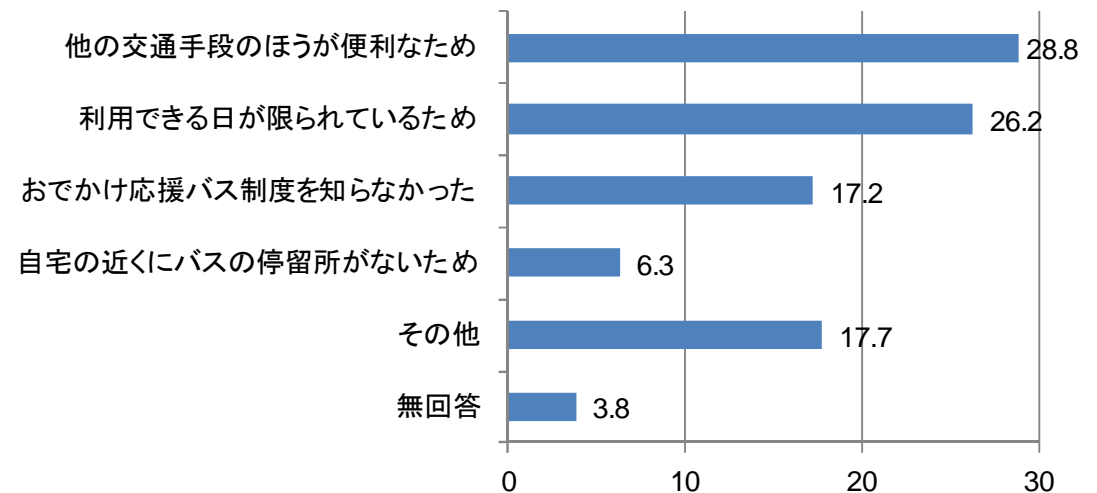
おでかけ応援バスの利用頻度

●おでかけ応援バスの利用状況

- ・実施日における1日の平均利用者数の推移は、制度開始当初の平成16年が約8,200人に対し、平成23年度は約16,000人と倍増している。
- ・これは、制度の周知・定着、利用対象日の拡大等によるものと考えられるが、平成20年辺りから横ばいが続いている。
- ・一方、おでかけ応援バスを利用しない主な理由のなかで、「利用できる日が限られているため」(26.2%)、「『おでかけ応援バス制度』を知らなかったため」(17.2%)が、上位に挙げられている。



おでかけ応援バス実施日の1日平均利用者数の推移



おでかけ応援バスを利用しない主な理由

●おでかけ応援バス制度への要望

- おでかけ応援バスの利用可能日を増やしてほしい、使いたいときに使えるようにしてほしいといった意見が高齢者の半数以上を占める。
- 自由意見の中でも、利用できる日数や利用日の指定についての意見が最も多い。

○おでかけ応援バスを利用できる日数について

今のままでよい 32.9%	増やすのがよい 53.2%	無回答 12.2%
------------------	------------------	--------------

減らすのがよい
1.7%

○おでかけ応援バスを利用できる日の指定について

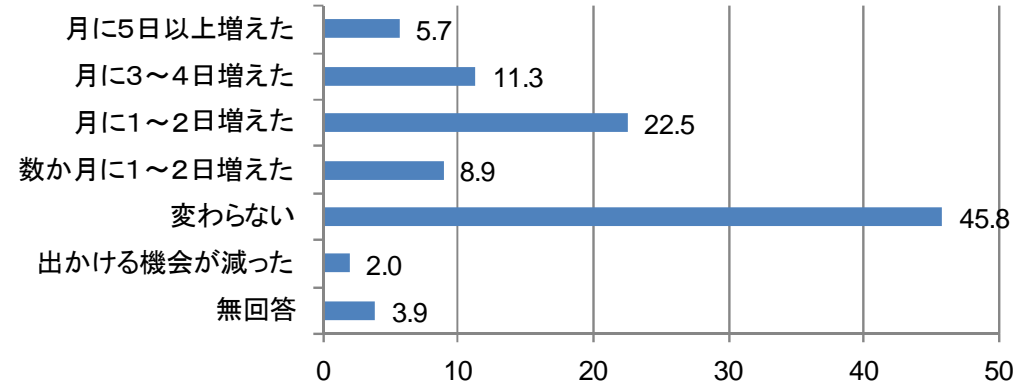
利用日が指定されているのがよい 31.9%	利用日が決められるのがよい 52.4%	無回答 15.6%
--------------------------	------------------------	--------------

<上記以外の主な要望>

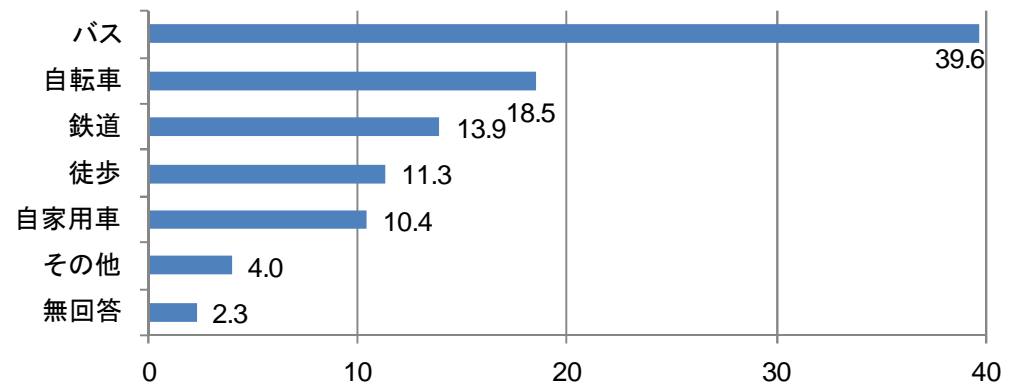
- おでかけ応援カードを身分証明書として利用したい。
- 料金を無料にしてほしい。
- 対象者に所得制限を設けるべき。
- 電車でも利用できるようにしてほしい。
- 周知不足。利用できる日が分かるようにしてほしい。

●おでかけ応援バス利用による変化

- おでかけ応援バスを利用する前と現在を比べ、半数の人がお出かけの機会が増えたと感じている。
- 自転車、徒歩、自家用車からバスに転換した人の割合は、約4割にのぼる。
- おでかけ応援バスを利用し始めて、「買物や外食などででかける機会が増えた」や「生きがいや気力が増進した」という評価が高い。



おでかけ応援バスを利用する前と現在を比べたお出かけ機会



おでかけ応援バスを利用する前の交通手段

出典: 高齢者社会参加促進事業にかかる効果検証業務報告書(平成24年3月)

○おでかけ応援バスは、高齢者の外出促進や生きがいの増進に一定の効果あり

○また、公共交通利用の転換が図られ、公共交通の利用促進に寄与

●おでかけ応援バス改変の考え方

- ・おでかけ応援バスは、高齢者の外出促進や公共交通の利用促進に効果がある。
- ・利用可能日が限られているため、使いたいときに使えないことがあり、十分に利用促進効果が発揮されていない。
- ・利用者から利用日を増やしてほしいという要望が多い。



○「高齢者の社会参加」、「公共交通の利用促進」、「公共交通の維持・活性化」を図るため、利用可能日の拡大など、ニーズに合ったより利用しやすい制度への改変を目指す